

2018年9月期 第1四半期決算概要 (2017年10月1日～2017年12月31日)

シミックホールディングス株式会社
2018年2月1日

事業セグメントとグループ各社

青字表記は海外。※印は関連会社。

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2017年12月末時点）
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援、分析化学サービス及び医療、製薬業界向けBPO・人材サービスに係る業務	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミックPMS(株) シミック・シフトゼロ(株) CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC Asia-Pacific (Hong Kong) Limited CMIC ASIA-PACIFIC (PHILIPPINES), INC. CMIC (Beijing) Pharmaceutical Services Co., Ltd. CMIC (Beijing) Co., Ltd. シミックファーマサイエンス(株) CMIC, INC. CMIC (Suzhou) Pharmaceutical Technology Co., Ltd. シミックキャリア(株)
CDMO事業	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで医薬品製剤開発・製造支援に係る業務	シミックCMO(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックJSRバイオロジックス(株) ※
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務	シミック・アッシュフィールド(株) エムディエス・シーエムジー(株) ※
ヘルスケア事業	SMO（治験施設支援機関）業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務	サイトサポート・インスティテュート(株) シミックヘルスケア(株) CMIC VIETNAM COMPANY LIMITED
IPM事業	グループが保有する製造販売業等の許認可（知的財産）とバリューチェーンを組み合わせた新たなビジネスソリューションを製薬企業等に提供する事業	シミックホールディングス(株) シミックCMO(株) (株)オーファンパシフィック

当期の主な取組み

Project Phoenixの推進

- ▶ PVCモデルによるソリューションビジネスの拡大
- ▶ アジャイル経営実現に向け、部門横断チーム「はやぶさ」の活動を推進
- ▶ 働き方改革 多様な働き方を推進するため「テレワーク制度」の全社展開

CRO事業

- ▶ ヒトiPS細胞由来血小板製剤実用化を目指す技術コンソーシアムに参画
- ▶ 次世代医薬品として期待される核酸医薬品の分析サービス事業強化
- ▶ 中国ジェネリック医薬品承認取得支援サービス開始

CDMO事業

- ▶ 抗がん剤の受注拡大に向け、足利工場に最新設備を実装した新注射剤棟新設

CSO事業

- ▶ 多様なサービスを組み合わせた総合的なコマーシャルソリューションの提供

ヘルスケア事業

- ▶ バイオジェン、ウェルビーと共同した脊髄性筋萎縮症患者支援サービス開始
- ▶ メディカルコンシェルジュサービス等の新サービスモデル拡充

IPM事業

- ▶ ノバルティスファーマより高血圧治療薬「ラジレス錠® 150mg」国内製造販売承認の承継

連結損益計算書（要約）

	2017/1Q		2018/1Q		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	15,389	100.0	16,637	100.0	1,248	8.1
営業利益	501	3.3	1,013	6.1	512	102.0
経常利益	619	4.0	1,035	6.2	415	67.1
親会社株主に帰属 する四半期純利益	200	1.3	544	3.3	343	170.9
1株当たり 四半期純利益	10円74銭		29円09銭			

営業外損益・特別損益の内訳

(百万円)

	2017/1Q	2018/1Q
営業外収益内訳	180	59
為替差益	153	26
受取利息	8	1
持分法投資利益	—	16
その他	18	14
営業外費用内訳	62	37
支払利息	30	28
持分法投資損失	6	—
その他	24	9

	2017/1Q	2018/1Q
特別損失内訳	102	18
固定資産売却損	21	—
固定資産除却損	9	13
貸倒引当金繰入額	70	—
有価証券評価損	—	4

セグメント別売上高および営業利益

		2017/1Q 金額 (百万円)	2018/1Q 金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	7,677	9,012	1,334	17.4
	営業利益	1,157	1,812	655	56.7
CDMO事業	売上高	3,233	3,586	353	10.9
	営業利益	△192	△184	7	-
C S O 事業	売上高	1,711	1,675	△35	△2.1
	営業利益	83	56	△27	△32.6
ヘルスケア事業	売上高	2,056	1,739	△317	△15.4
	営業利益	194	149	△45	△23.4
I P M 事業	売上高	764	746	△18	△2.4
	営業利益	1	△65	△66	-
調 整 額	売上高	△54	△122	△67	-
	営業利益	△742	△755	△12	-
合 計	売上高	15,389	16,637	1,248	8.1
	営業利益	501	1,013	512	102.0

受注高・受注残高

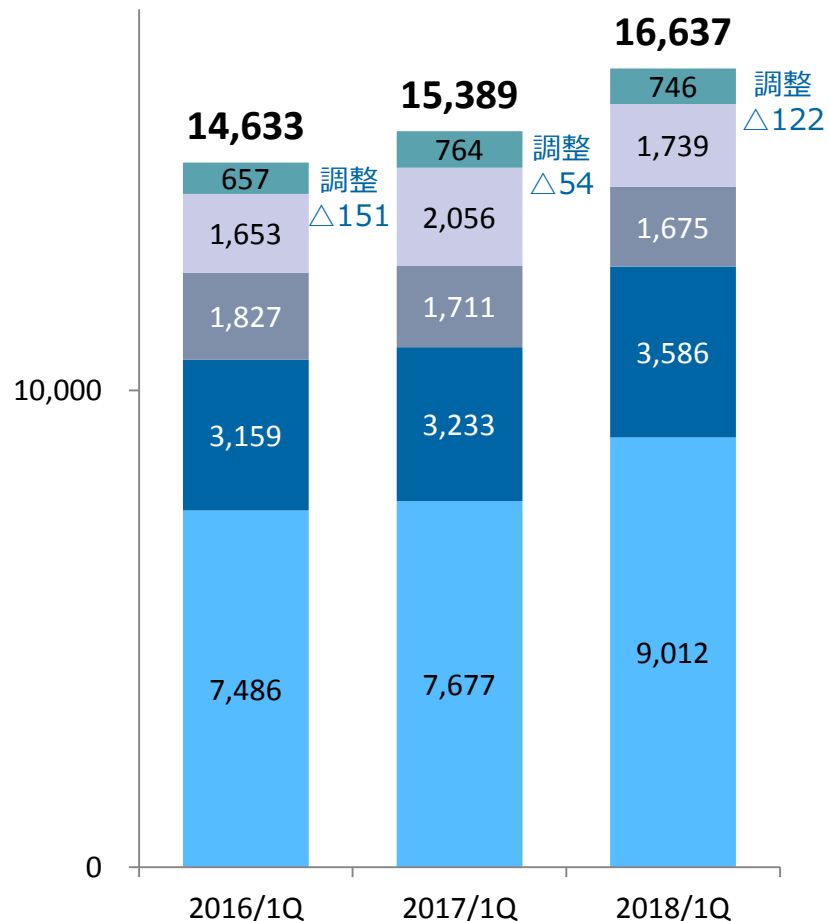
	2017/1Q		2018/1Q			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	13,789	51,719	10,479	△24.0	56,440	9.1
CDMO事業	3,519	3,593	3,523	0.1	3,582	△0.3
C S O 事業	1,045	4,929	1,663	59.1	3,084	△37.4
ヘルスケア事業	1,999	9,448	1,606	△19.7	9,054	△4.2
合 計	20,354	69,690	17,272	△15.1	72,161	3.5

- CDMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない。
- IPM事業は受託事業と業態が異なるため、受注情報から除外している。

連結売上高および営業利益の推移

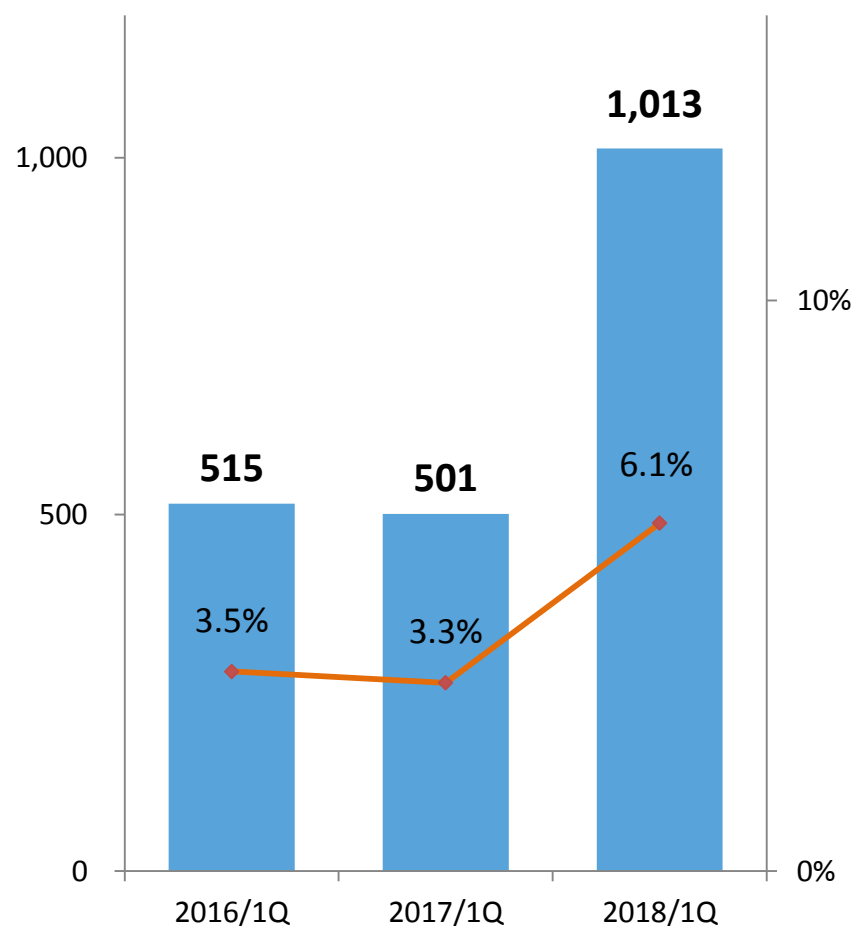
【売上高】

(百万円)



【営業利益】

(百万円)

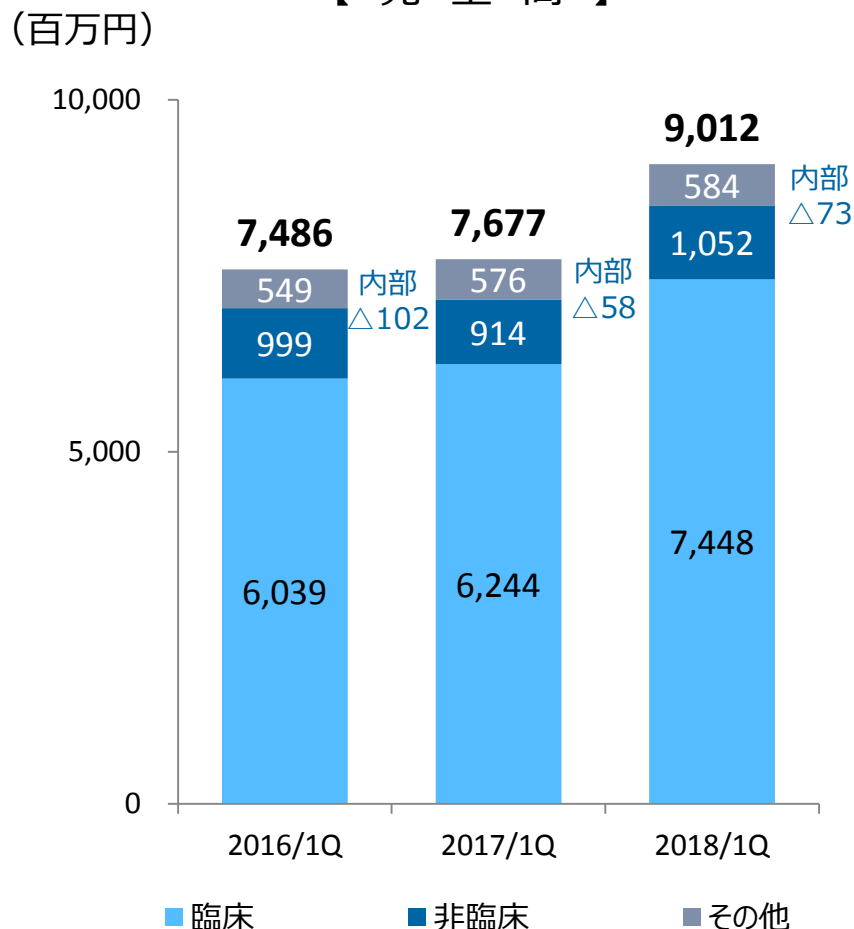


■ CRO事業 ■ CDMO事業 ■ CSO事業 ■ ヘルスケア事業 ■ IPM事業

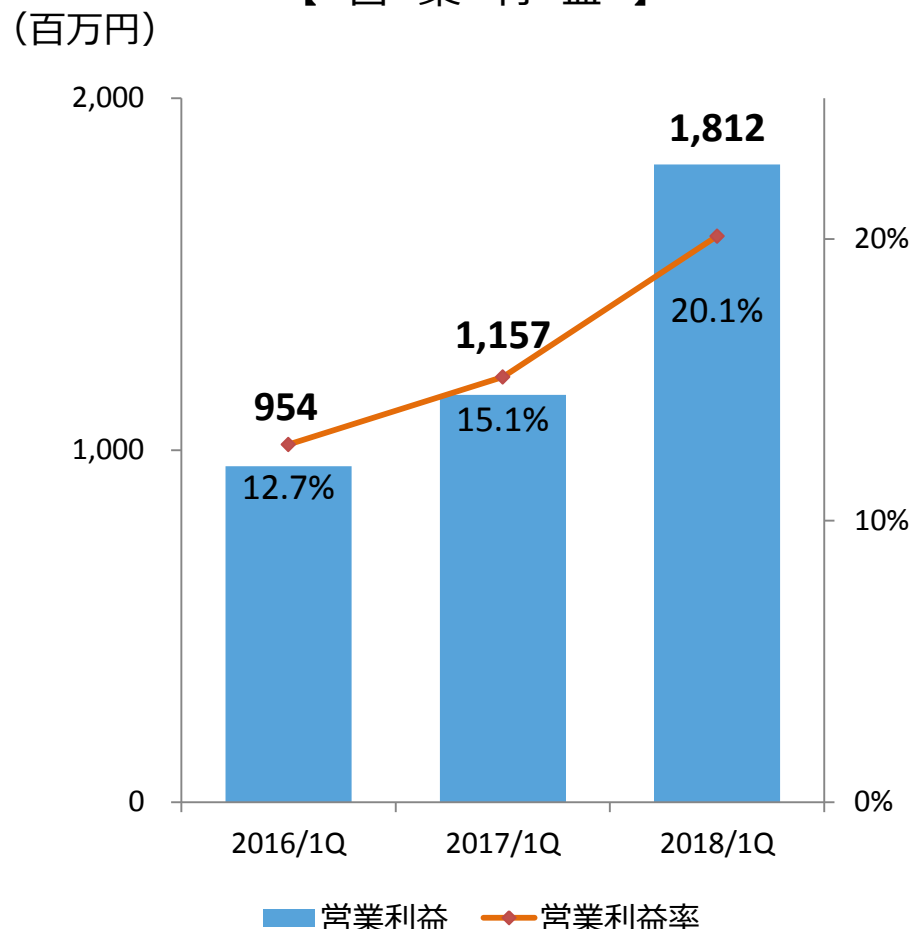
■ 営業利益 ◆ 営業利益率

医薬品開発支援（CRO）事業

【売上高】



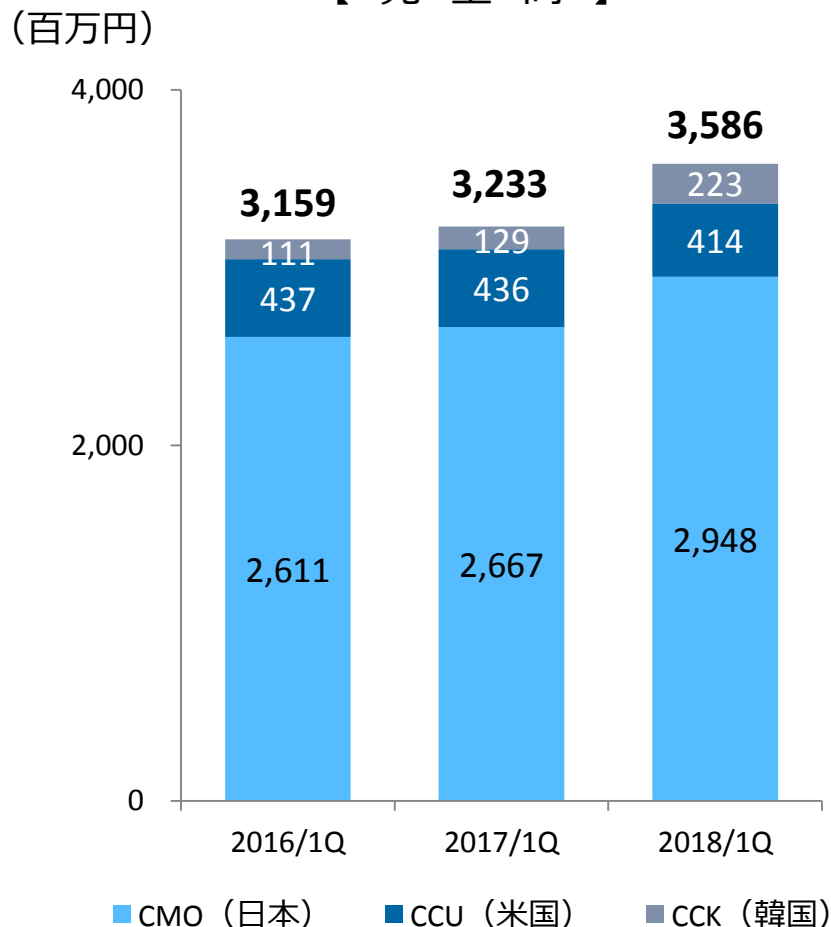
【営業利益】



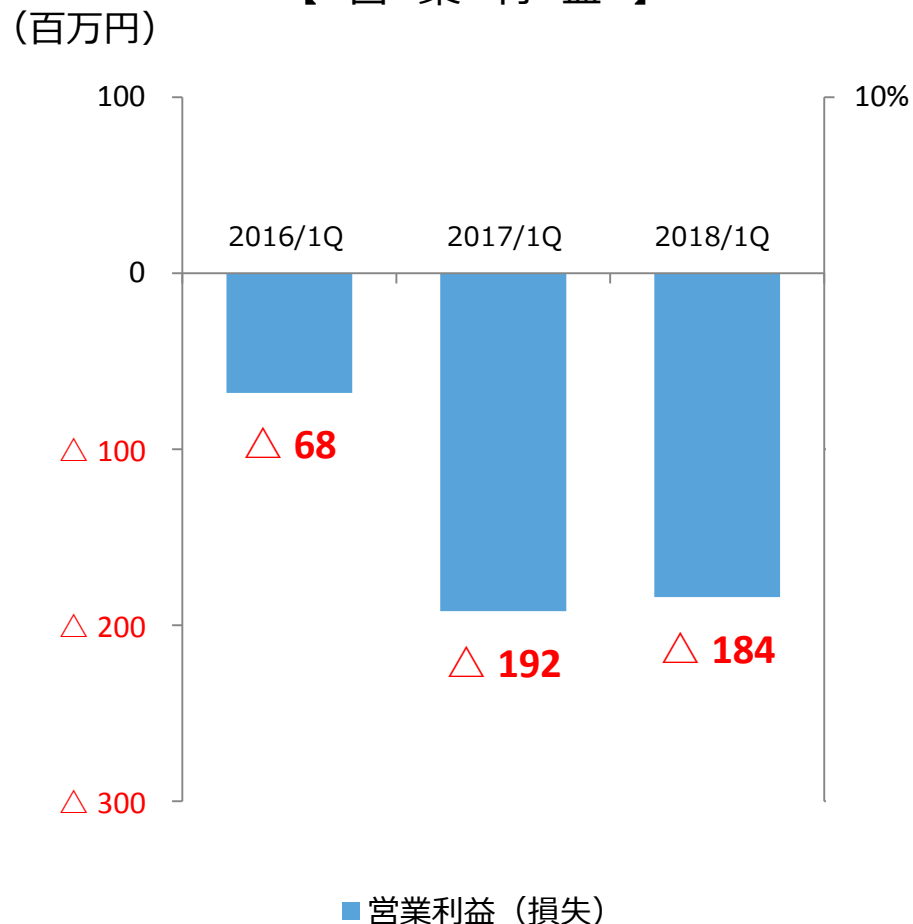
臨床業務において、堅調な引合いに応じた人材の確保、臨床研究及びデータベースを活用した市販後支援ビジネスの検討を進める。非臨床業務において、米国進出企業の支援など日米の連携を強化、また、核酸医薬や再生医療など次世代医薬品の創薬支援に取り組む。新規受注及び既存案件が堅調に進捗したことにより、売上高及び営業利益が前年同期を上回る。

医薬品製剤開発・製造支援（CDMO）事業

【売上高】



【営業利益】

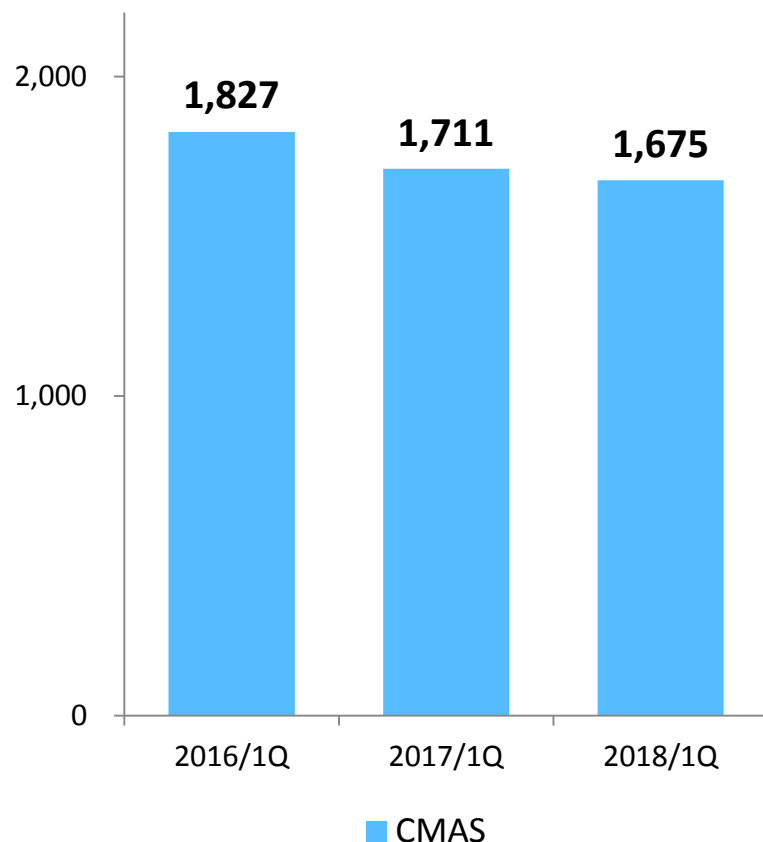


医薬品製造にかかる総合的なサービスを通して、生産性と効率性を追求したローコスト生産体制の確立に取り組む。新注射剤棟の本格稼働に向けた立上げに注力。新規受注及び既存案件の受託生産が堅調に進捗したこと等により、売上高は前年同期を上回るが、新注射剤棟の立上げ費用が先行的に発生していること等から、前年同期並みの営業損失を計上。

医薬品営業支援（CSO）事業

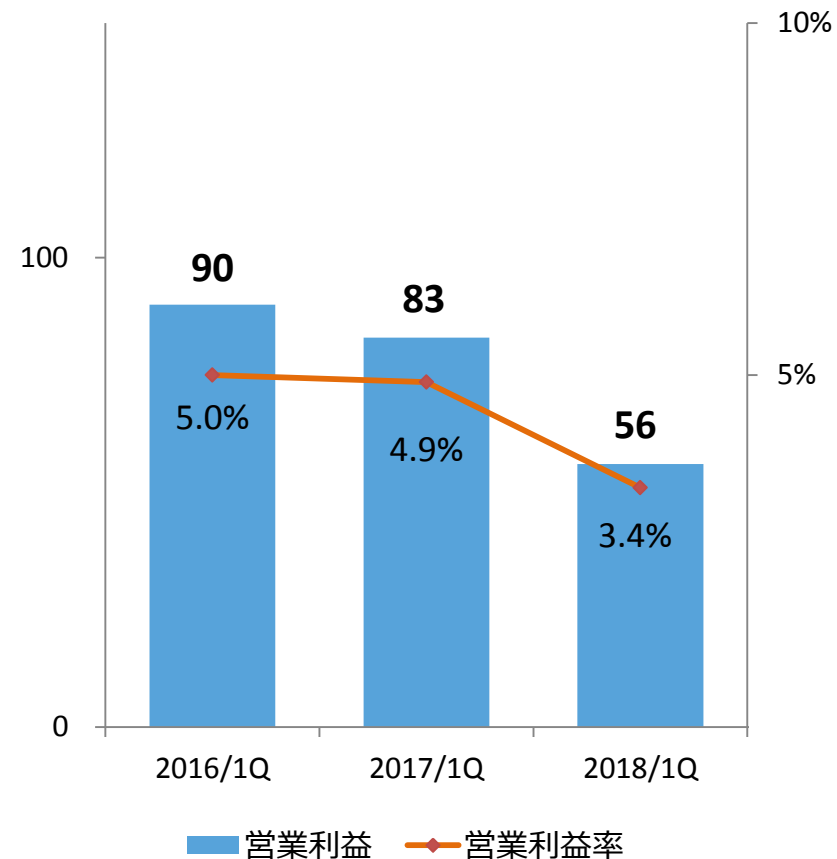
【売上高】

(百万円)



【営業利益】

(百万円)

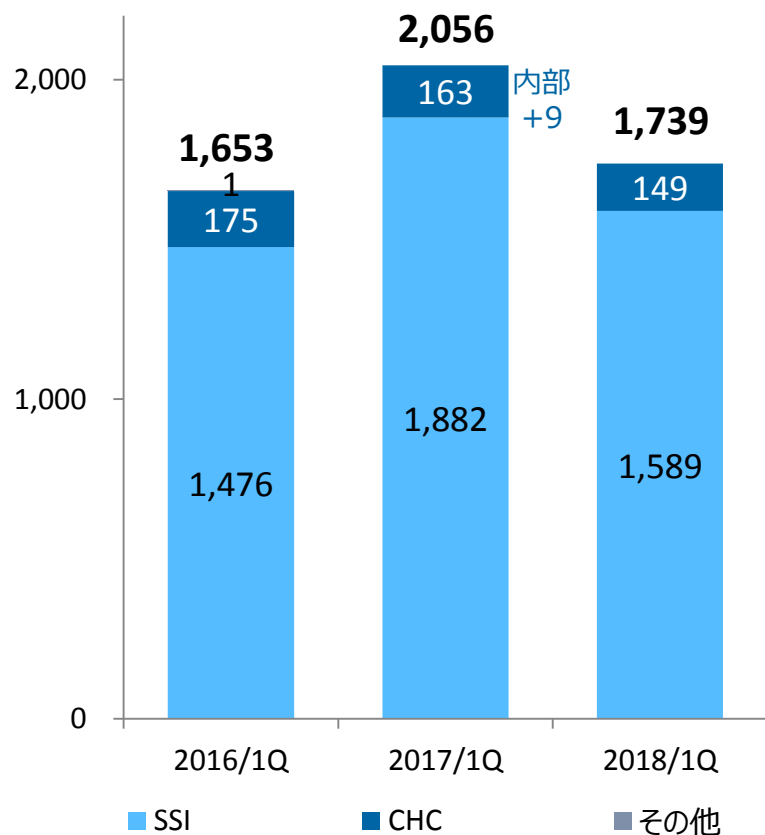


シミック・アッシュフィールドにおいて、受注力強化及び既存案件の着実な進行に取り組む。顧客ニーズに対応した多様なサービスを組み合わせた総合的なコマースソリューションの提供を進める。MR派遣業務のアウトソーシングニーズが調整局面にあることから、売上高及び営業利益は前年同期を下回るが、足元の受注は回復基調。

ヘルスケア事業

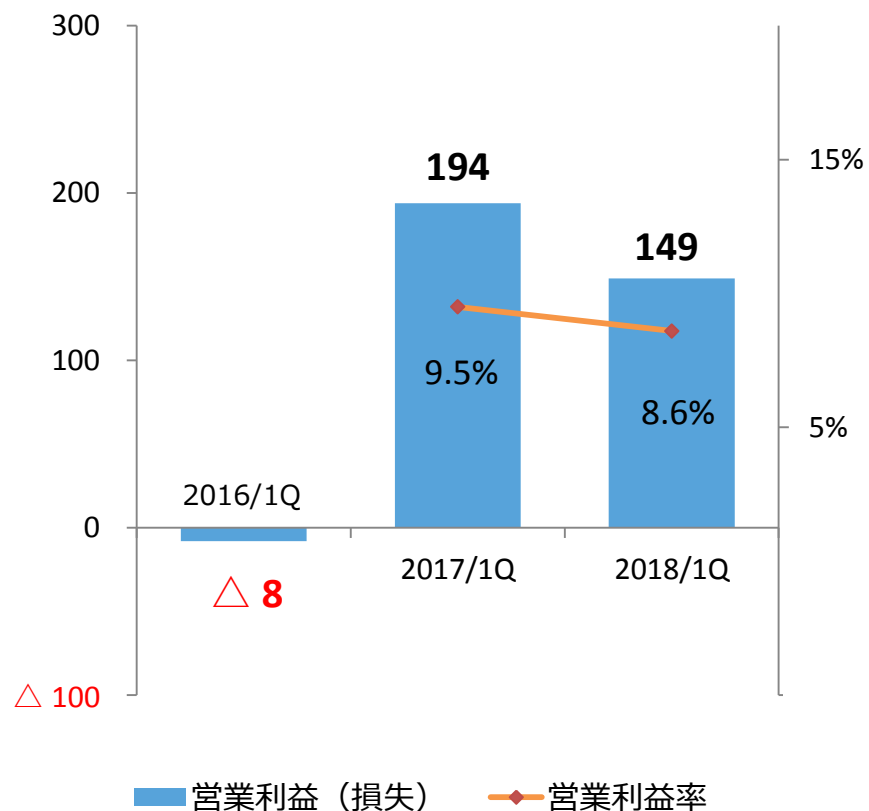
【売上高】

(百万円)



【営業利益】

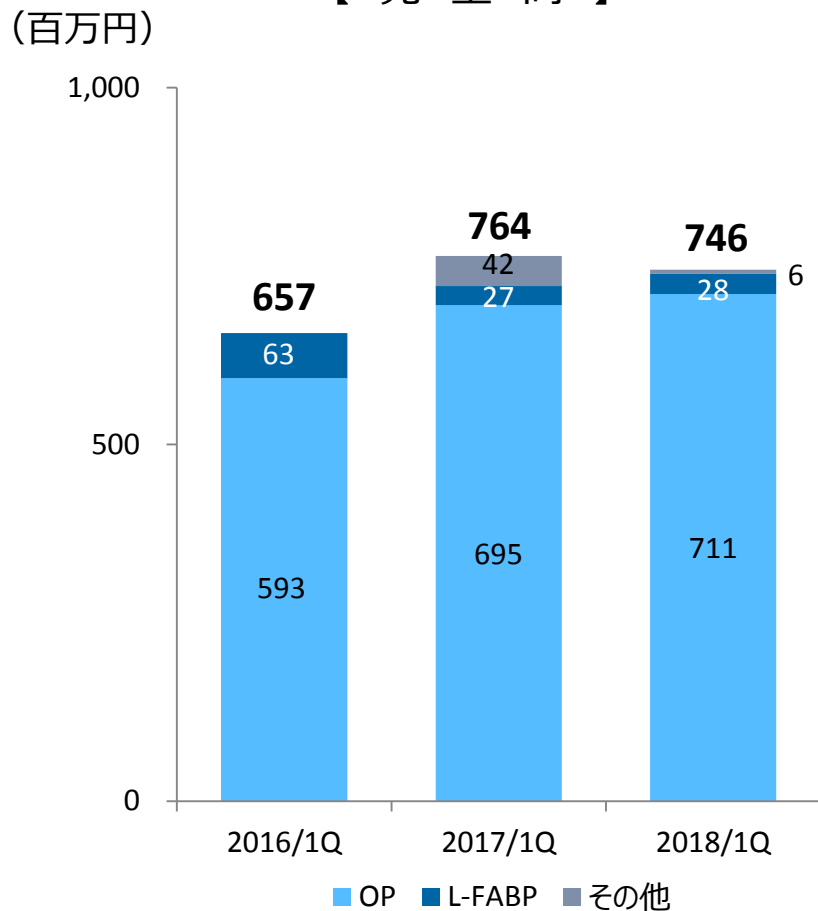
(百万円)



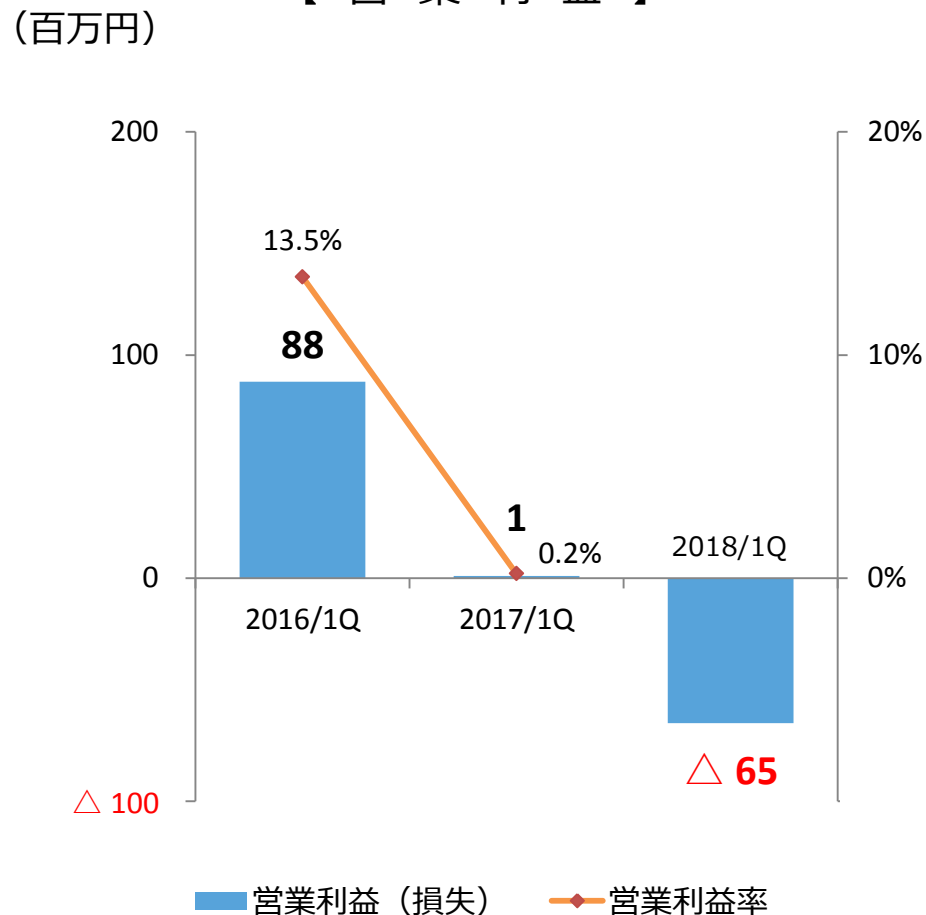
サイトサポート・インスティテュートにおいて、新規受注の獲得、メディカルコンシェルジュサービス等の新サービス拡充に取り組む。売上高及び営業利益は、前年同期に取り組んでいた大型プロジェクトの減少等により、前年同期を下回る。

Innovative Pharma Model (IPM) 事業

【 売上高 】

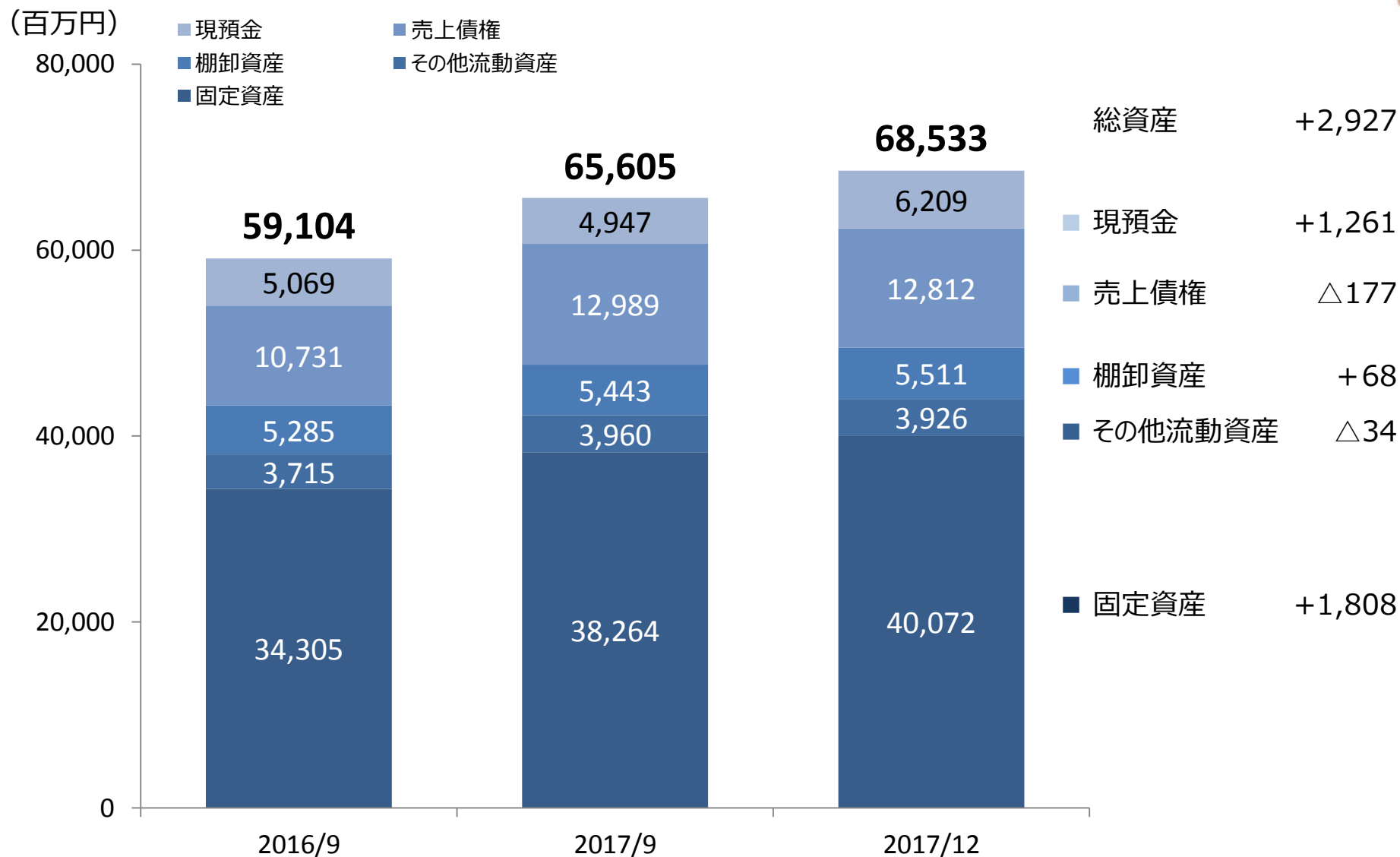


【 営業利益 】

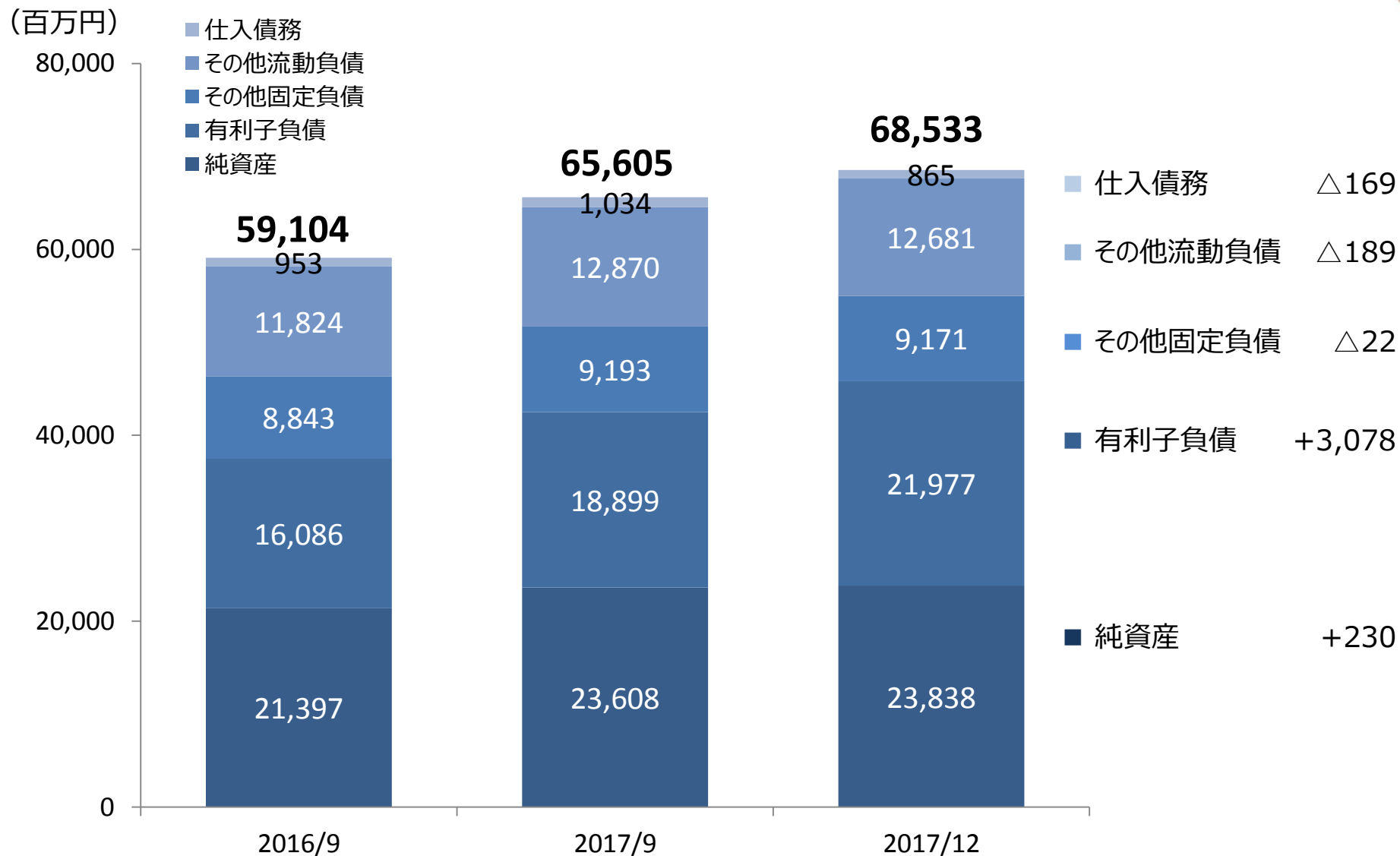


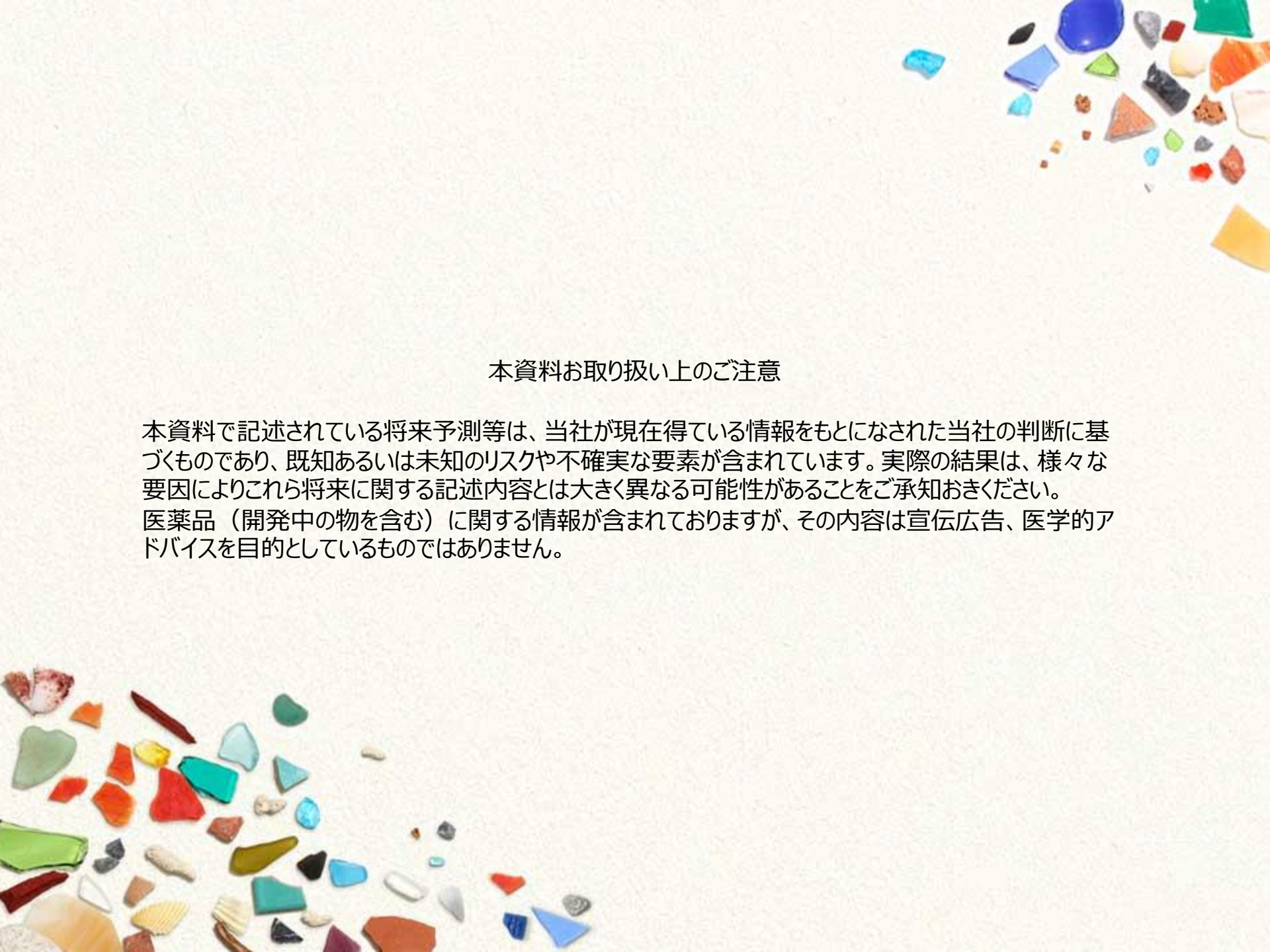
自社開発品を含むオーファンドラッグ等の販売及び海外製薬企業の日本市場進出を支援するなど、IPMプラットフォーム提供を通じたIPM事業の基盤強化に取り組む。腎疾患バイオマーカー（L-FABP）の販売拡大及びプロモーション強化。売上高及び営業利益は、足爪用浸透補修液「ザンミーラネイル」販売に係る費用の計上等により前年同期を下回る。営業黒字化に向けて、新しいソリューション提供による事業規模拡大に引き続き取り組む。

連結貸借対照表（資産の部）



連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）





本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。医薬品（開発中の物を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。